

第15回

# 天草大陶磁器展



AMAKUSA  
CERAMIC  
ART  
2018

11/1 木・2 金・3 祝・4 日・5 月・6 火

入場  
無料

●メイン会場 天草市民センター・体育館 AM9:30~PM5:00 (最終日 6日はPM4:00まで)

<http://amakusatoujiki.com/aca> 天草大陶磁器展の詳細は [天草大陶磁器展](#)

公益信託くまもと21ファンド助成事業



AMAKUSA  
CERAMIC  
ART  
2018

### 天草の宝物

西暦2000年天草で開催された県民文化祭「ミレニアム天草」は産業文化という視点をテーマとして開催されました。産業文化とは一言で言えば「地域において職業として成立する文化」ということです。これは天草陶磁器が職業的文化資源として、地域振興の柱として捉えられたことを意味します。同時に開催された国際陶芸シンポジウムにおいて「陶石の島から陶磁器の島へ」という、陶磁器振興に関する住民決議が採択されました。

この決議を受け、翌年より文化課(当時は本渡市)の元で「陶芸のまちづくり事業」が3年間の期限を定めて始まりました。内外の著名な陶芸家を招聘したり、アーティストによるワークショップの開催、技術交流などを積極的に行なったのがこの時期です。その後商工観光課(当時は本渡市)が引き継ぎ、天草大陶磁器展を中心とした事業を行なってきました。大陶磁器展は年々規模が拡大し、天草における秋の一大イベントへと成長しています。

本年、15回目の大陶磁器展を開催するにあたり、「天草大陶磁器展実行委員会」を「天草陶磁器の島づくり協議会」へと組織変更しました。大陶磁器展は陶磁器産業の認知向上や、地域活性化には直結しますが、「陶石の島から陶磁器の島」を目指すのであれば、更に広範囲の事業展開が必要になってきます。後継者育成、販路拡大、ブランド化の推進、才能の発掘、地元における販路の拡充など、産地化へ向けてるべきことは限りなく存在します。勿論、陶磁器の産地化は一朝一夕に出来ることではありませんが、目標を明確に持ち、継続して努力を重ねていけば、「陶石の島から陶磁器の島へ」という悲願は、必ず達成できると考えています。

県民文化祭開催時に天草の陶磁器　過去・現在・未来という1冊の本を作りました。その序文に「天草には他の地域と比べても誇りに出来るような宝物がたくさん埋もれている。天草学林を中心とした南蛮文化、切支丹、この場所はどこよりも早く西洋文化が花開いた所でもあるのだ。天草灘に沈む夕日、青い海、降り注ぐ夜の星、亜熱帯の植生、福連木の子守唄、皆掛け替えのない宝物だ。ハイヤのリズム、各地に伝わる民話、日本で初めて金属活版印刷されたイソップの物語…と書きました。

司馬遼太郎は、街道をゆく『島原・天草の諸道』において天草陶石について「天草灘に面した下島の西端十数キロにわたって産し、ほとんど無尽蔵だ」という。…中略…陶石街道とさえ言えそうである」と記し「この耕地が極端に少ない島のひとつに対し、天が憐れんでただ一つだけの産物を与えたのが陶石だと思えるほどに、その道では結構なものらしい」と結んでいます。陶器産地化とは司馬遼太郎のいう結構なものを、もう一段結構なものにすることがあります。

6月の終わりに崎津集落が世界文化遺産に登録されました。天草にひっそりと息づいていた歴史が世界に認められ、掛け替えのない遺産だと評価を受けました。地域固有でアナログな資源は、地域にひっそりと埋もれていることが多いです。天草陶石も崎津の人々の暮らしも、天草の宝物に違いありません。今までを大切にしながら、掘り起こし、磨き上げ、変わることなく永続可能なものを、作り上げなければならないと思います。2018年。天草大陶磁器展のテーマは天草の宝物。見たり聞いたり触ったりしながら、天草の時間をゆったりと楽しんでいただければ幸いです。

天草陶磁器の島づくり協議会 会長 金澤一弘

Sakitsu  
Amakusa



世界遺産のあるまち  
「天草の崎津集落」



講師

河野俊行 氏

国際イコモス会長・九州大学大学院法学研究院教授

11/3 祝  
土

16:00~17:30

場 所 天草市民センター ホール

前 売 1,000円 (当日券 1,200円)  
チケット ※お求めは下記窓口までお願いいたします。

定 員 650名

河野俊行氏プロフィール

京都大学法学部卒業、同大学院修了。1986年より九州大学法学部助教授を経て、1997年より同教授。90年代より国際記念物遺跡会議(ICOMOS)法律財政委員会の活動を通じて文化遺産に関する法的問題に携わり、2002年からユネスコ無形文化遺産条約の制定に日本政府代表団の一員として参画。2017年、日本人初となるICOMOS会長に就任した。

ICOMOSとは

イコモスとは、国際記念物遺跡会議(ICOMOS/ International Council on Monuments and Sites)のこと、文化遺産保護に関わる国際的な非政府組織(NGO)です。1964年にユネスコの支援を受けヴェニスで開かれたSecond International Congress of Architects and Technicians of Historic Monuments(第2回歴史記念建造物関係建築家技術者国際会議)で、記念物と遺跡の保存と修復に関する国際憲章(一般にはヴェニス憲章の名で知られています)が採択されました。これを受け1965年にイコモスが設立されました。人類の遺跡や歴史的建造物など文化遺産の重要性を認識し、それらを保存し、継承していくという行為は、19世紀以来世界の多くの国で続けられてきました。しかし、そのような遺産の保存のための国際組織が構想されるようになったのは、第2次世界大戦後のことでした。その後20年の準備期間を経て1965年6月、クラクフ(ポーランド)でイコモスの第1回総会が開かれました。2017年3月現在では参加国は150カ国以上を数え、国内委員会が各國で組織され、文化遺産保存分野の第一線の専門家や専門団体が様々な活動を行っています。1972年のユネスコ総会での世界遺産条約採択後は、イコモスはユネスコをはじめとする国際機関と密接な関係を保ちながら、世界文化遺産の保護・保存、そして価値の高揚のための重要な役割も果たしてきました。文化遺産保護の原理、方法論、科学技術の応用の研究などを続けています。またユネスコの諮問機関として、世界遺産登録の審査、モニタリングの活動を続けています。

長崎と天草地方の潜伏キリスト教関連遺産 天草の崎津集落…長崎・天草地方は、禁教令により宣教師やキリスト教に対する弾圧が激しくなるなかでも密かに信仰を継承しつづけ、キリスト教が解禁されるまでの間、日本独特のキリスト教信仰を育んだ歴史を象徴する集落や史跡が数多くあります。こうした、集落や史跡は、世界中に類を見ない資産であると評価され、平成30年6月に世界文化遺産として登録されました。

チケットのお求め先・お問い合わせ…丸尾焼(北原町 0969-23-9522)／天草市経済部産業政策課(0969-23-1111 代表)



吉丸良治 氏

**11/1 木 ディスカッション  
陶石の島から、陶磁器の島へ**  
14:00~15:30

天草市民センター 第1会議室 ※入場整理券のお求め先は右記赤枠内をご覧ください。

席数の都合により  
入場整理券が  
必要となります。

熊本県文化協会名誉会長  
**吉丸良治氏**



金澤一弘

天草陶磁器の島づくり協議会 会長  
**金澤一弘**

天草における「陶磁器の島作り」は西暦2000年に開催された、県民文化祭「ミレニアム天草」国際陶芸シンポジウムの開催時に「陶石の島から、陶磁器の島へ」という、住民決議が行われたことに端を発しています。当時、熊本県伝統工芸館・館長であった吉丸良二氏に奔走して頂き、大成功で終えることが出来ました。天草陶磁器はその後、国の伝統的工芸品の指定を受け、発展の土台が出来上がります。音頭を取っていただいたのも吉丸氏でした。この20年間を踏まえつつ、からの天草陶磁器がどこを目指すべきかを議論したいと思います。

吉丸良治…昭和13年12月22日、生まれ。  
中央大学法学部卒業後、昭和41年熊本県庁入庁。東京事務所長、商工観光労働部長、企業局管理者を歴任し退職。熊本県伝統工芸館長を経て、現在、九州産業交通ホールディングス株式会社顧問、永青文庫常務理事、熊本県文化協会会長。

金澤一弘…1958年熊本県天草市(旧本渡市)生まれ。  
熊本県工業試験場の伝統工芸後継者育成事業でロクロ及び石膏型の製造技術を習得し、1980年に5代目を継承。1995年に完成した新工房は熊本県のアートボリューム表彰事業で推進選奨を受賞。熊本県伝統工芸協会 会長。天草陶磁器の島づくり協議会 会長。



野崎秀登 氏

**11/2 金 講演会  
カリブの島の焼き物奮闘記**  
14:00~15:30

天草市民センター 第1会議室 ※入場整理券のお求め先は右記赤枠内をご覧ください。

席数の都合により  
入場整理券が  
必要となります。

鬼池焼 光窯  
**野崎秀登氏**

2014年から2年間、ドミニカ共和国でJICAボランティアとして作陶指導に携わりました。まったく環境の異なる国での活動は、驚くこと、あきれること、ハラハラドキドキの連続でしたが、今になって振り返るとエキサイティングな毎日でした。首都サントドミニゴの国立美術学校での活動について現地の風土・文化事情も交えながらお話しします。

天草市五和町鬼池出身、佐賀大学卒業後東京の公立学校教員として約30年勤務。早期退職後帰郷し、父親が開窯した「鬼池焼 光窯」引き継ぐ。帰郷後どういうわけか海外旅行の機会に恵まれ、マダガスカル(ボルトガル)、メキシコ、ペルー、バヌアツ、ヨーロッパ諸国を旅する。以前から趣味程度に始めたスペイン語を生かせる活動を探していたところ、JICAシニアボランティアでドミニカ共和国での陶芸指導の要請を発見し、応募・受験。貴重な体験をすることが出来た。現在はドミニカで出会ったラリマーという石の色合いを出せる釉薬作りが当面の課題。



森田真生 氏

**11/3 祝・4 日** 両日 13:00~15:00  
3日…幼稚園・小学生(中高生含む)の親子同伴の会  
4日…一般の方対象に数学の演奏会(中高生も含む)  
**講演会 数学する風景 ~数学を通して「人間」を考える~**  
前売りチケット 2,000円 (当日券 2,500円)  
高校生以下 無料

3日…天草市武道館1階 柔道場 4日…天草市民センター 大会議室 ※チケットのお求め先は下記赤枠内をご覧ください。

独立研究者  
**森田真生氏**

完結で複雑な世界。難解で単純な宇宙。一瞬の中に永遠があり、永遠のような一瞬が存在する。膨大な情報の下、右往左往しがちな日常…解ないことを丹念に、数学を通して様々な提示してくれる独立研究家の森田氏。急速に変容する今にしっかりと対処できるタフな子供達にと思いを込め沢山の刺激とヒントとともに、天草の宝の子供達に沢山森田さんのお話を聞いて頂きたく、高校生以下は、無料で開催いたします。

1985年、東京都生まれ。独立研究者。東京大学理学部数学科を卒業後、独立。現在は京都に拠点を構え、在野で研究活動を続ける傍ら、全国各地で「数学の演奏会」や「大人のための数学講座」などライブ活動を行っている。2015年10月にデビュー作「数学する身体」(新潮社)を上梓。2016年、同書で第15回小林秀雄賞を受賞。



**「大坊珈琲の時間」を愉しむ  
in 丸尾焼 Vol.4 丸尾焼 展示室**

**11/3 祝・4 日** 前売りチケット 2,000円  
2種類の珈琲が楽しめます。

大坊勝次氏

11/3(土)…  
①10:30~11:30 ②13:00~14:00  
③14:30~15:30 ④16:00~17:00  
11/4(日)…  
①11:00~12:00 ②13:30~14:30  
③15:00~16:00 (両日各回10名)



**工房珈琲 Kim・Café**  
**11/3 祝 10:00~16:00**  
丸尾焼 工房

1杯 500円 スイーツ付

キム・ホノ氏は大坊氏の珈琲をいれる姿を見て、人生の導を見つけたとのことでした。大坊氏を天草に誘って頂いたのもキム・ホノ氏。大坊氏と同じフィールドで珈琲をいれたいというのもキム氏の希望でした。キム氏は珈琲の器に対するこだわりと同じく、珈琲に対する想いがとても強い陶芸家。大坊氏とキム氏の珈琲に対する想いを同時に飲めるのは、今年は一日限りとなります。

大坊氏の来島は今年で4回目となります。「コーヒーカップとコーヒー」というテーマを、陶磁器展で取り組み始めた時より、大坊珈琲を淹れていただく企画をたてました。今では九州はもとより、関東からも大坊珈琲を飲みに来る珈琲ファンが出てきました。大坊氏が珈琲をいれると、涼とした空気が漂い、言いつのない緊張感が訪れます。珈琲を飲むというよりも、人生を飲み干すのだという感傷が胸をよぎる瞬間でもあります。この機会にぜひ大坊珈琲を体験してください。

※各回10名の珈琲を準備しております。数に限りがございますので、お早めにお申し込みください。お申し込み・お問い合わせは丸尾焼までTEL:0969-23-9522(9:00~18:00)

※見学のみは無料です。大坊さんが淹れる珈琲を飲む場合は事前申し込みが必要です。※チケット購入時に日時をご指定ください。

**観ること聞く事** 天草大陶磁器展には、毎年多くの人達がゲストとして訪れ、講演を行ったり演奏会を開いたり、多様なイベントを開催しています。一見、陶芸とは無関係に思えますが、大きな行事には知的探究心を刺激する企画が何より重要であり、これから地方の発展のためには多様性に富んだ場所を作ることが重要だと考えるからです。多様性は一方でモノラルな情報からは生まれません。外からの視点を持った人の話を聞き、これからの自分や地域を考える。最近では、どんな人がゲストとして大陶磁器展に来るのですか?と尋ねられるようになりました。ほかのイベントでは考えられないくらい多彩なゲストが、今年も天草を訪れて講演や公開制作を展開します。今を感じる人たちの、息遣いを楽しんでいただければ幸いです。



藤原惠洋 氏

**11/4 日 講演会**  
10:00~11:30

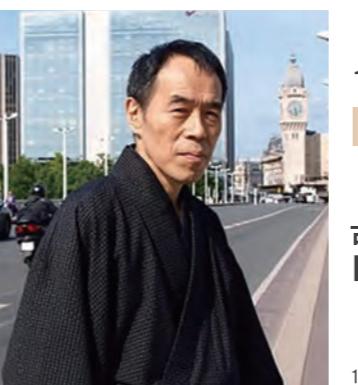
**建築探偵が導く  
世界文化遺産の謎解き**

天草市民センター 大会議室 ※入場整理券のお求め先は下記赤枠内をご覧ください。

席数の都合により  
入場整理券が  
必要となります。

九州大学大学院教授  
**藤原惠洋氏**

藤原教授には陶磁器コンテストの審査員を長くお願いしています。審査員を依頼した理由は、藤原教授の専門外の分野についての知識と見識に、いつも驚かされるからです。今回の講演は専門分野の講演となるので、とても興味深い話になることは間違ありません。藤原教授はバーレーンで開催された世界遺産委員会の現場に、日本イコモス国内委員として実際に立ち会った人々です。現地の状況やこれまでの経緯など、指定までの顛末を語ることの出来る、数少ない人物です。表話や裏話。。。建築史学という見地からも必見の講演会です。



甲野善紀 氏

**11/4 日 講演会**  
10:00~12:00

**武術に学ぶ  
心と身体の再発見**

天草市武道館3階 剣道場

前売りチケット 2,000円  
(当日券 2,500円)

※チケットのお求め先は下記赤枠内をご覧ください。

古い陶芸作品には、どうやって作ったのか判らない不可思議な作品があります。大きさや形状現在の技術では説明がつかない作品が存在するのです。甲野先生の話では、現代の日本人とそれ以前の日本人とでは、体の使い方に随分違いがあるそうです。西洋文明が入る前の日本人は、考えられないほど重いものを持ち上げたり、長距離を走ったりしていたようです。その秘密は今と違う体の動きだったということ。甲野先生は3度目の来島になりますが、毎年確実に進化しているという印象を受ける人です。糸を使った体を楽にする術や体幹移動の方法など、日本人が忘れてしまつた大切な根幹を探っている方の、実践を踏まえたお話は感銘を受ける出会いとなるでしょう。



日比野克彦 氏

**11/5 木 公開制作**  
13:00~16:00

丸尾焼 ※入場整理券のお求め先は下記赤枠内をご覧ください。

席数の都合により  
入場整理券が  
必要となります。

東京藝術大学教授  
**日比野克彦氏**

岐阜県岐阜市出身。  
東京藝術大学教授1982年東京藝術大学美術学部デザイン学科卒業。1984年東京藝術大学大学院修了。藝大在学中にダンボールや、わら半紙を利用した芸術作品を作成し脚光を浴びる。1995年から1999年まで東京藝術大学美術学部デザイン学科助教授、1999年から2007年まで東京藝術大学美術学部先端芸術表現科助教授/准教授を経て2007年10月より現職。

**入場整理券・チケットのお求め先** 丸尾焼(北原町 0969-23-9522)/天草市経済部産業政策課(0969-23-1111 代表)  
※当日券もございます。当日券は会場受付にて開演30分前より配布いたします。

**ディスカッション・講演会 お問合せ先** 丸尾焼 熊本県天草市北原町3-10 TEL 0969-23-9522 FAX 050-3488-9252

# 陶石の島から、陶磁器の島へ

## ■陶磁器の島 AMAKUSA陶磁器コンテスト作品展 天草市民センター・展示ホール

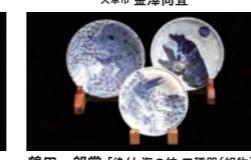
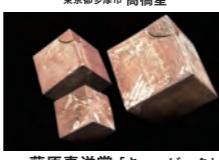
全国から応募のあった陶磁器の作品を展示。新しい才能の発掘と陶磁器の持つ可能性を御堪能ください。

主催／天草陶磁器の島づくり協議会 共催／熊本日日新聞社

### 今年の課題品目

- ①特別な…紅茶の器・コーヒーの器 ②花の器 ③クリスマスを題材とした作品 ④メンクイな器 ⑤非日常のオブジェ

### 2017年 陶磁器の島 AMAKUSA陶磁器コンテスト 審査結果（敬称略）



**準グランプリ「shell」**

福岡県福岡市 平野聖子

#### 2017年 陶磁器の島 AMAKUSA陶磁器コンテスト審査員

審査委員長…日比野克彦 東京藝術大学教授  
審査委員…小川哲男 北山窯 日本国芸会正会員  
鶴田一郎 イラストレーター  
藤原恵洋 九州大学大学院教授  
金憲鎬 陶芸家

兵庫県宝塚市 田中まゆみ

### ■オープニングセレモニー テープカット 【11/1日(木)】 天草市民センター・エントランス前 9:00~

### ■ワザワザ天草 今も継承される業や匠の技を披露します。 天草市民センター・エントランス 10:30~ 14:30~

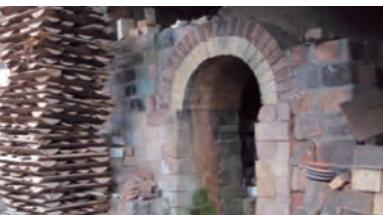
### ■下浦石工の会作品展 下浦町は古くから多くの天草石工を生み出して来た石工の名産地… どうぞ下浦石工の作品をご覧ください。 天草市民センター・エントランス

### 天草の芸能 天草の様々な芸能をゲストにお招きし、ご堪能いただきます。 11/3祝・4日 11:00~ 13:00~ 天草市民センター ●ハイヤ踊り ●郷土芸能 等

### ■天草大陶磁器展 お楽しみ抽選会 協賛/AMX ALERGIA

期間中、特設会場内にて3,000円以上お買い上げのお客様に天草陶磁器をはじめ、五足のくつ宿泊券、天草エアライン(福岡～天草)往復券、ペルラの湯舟入浴券、参加各窯元の陶磁器など抽選で当たります。

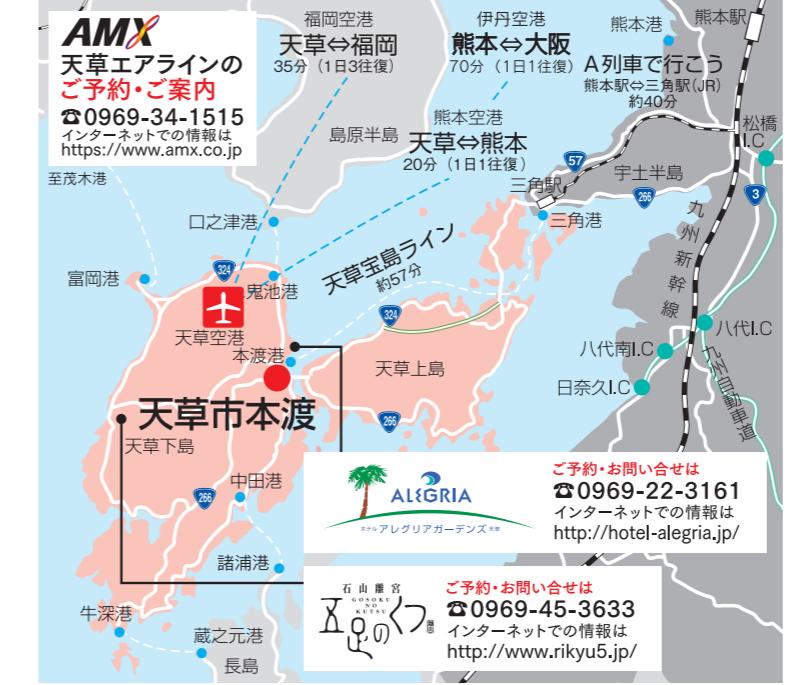
### 窯元ギャラリー 天草大陶磁器展期間中も営業いたします。



**丸尾焼** 北原町3-10 TEL.0969-23-9522

**水の平焼** 本渡町本戸馬場2004 TEL.0969-22-2440

**山の口焼** 本渡町本渡1755-3 TEL.0969-24-2072



### ■天草市民センター周辺拡大図



- P … 11/1日(木)～6日(火)期間中毎日駐車可
- P … 11/3日(土・祝)・4日(日)のみ駐車可
- P … 11/3日(土・祝)のみ駐車可

天草の観光・宿泊案内  
天草宝島観光協会へ ☎0969-22-2243

## 行列のできる天草A級グルメ屋台村 天草のうまいものが大集結! 物産展

天草大陶磁器展  
初出展  
9窯元

### C 27 工房豊炎 三反田豊

鹿児島市谷山中央2-4138  
TEL/099-266-3145

最近、食器を作ることが楽しくなりました。  
日常生活に密着し使いやすさを求め、日々研鑽を重ね、少しでも新鮮な作品創りを心がけています。



### C 37 元町陶苑 西川智成

東諸県郡綾町大字南俣65  
TEL/0985-77-2066

炭化丸・生活道具として毎日の食卓に  
おおいおい!!



### D 48 隼風窯 海江田健志

霧島市隼人町内山田1-11-6  
TEL/099-345-2040

陶芸を志して、24年が経ちました。日々の  
生活に潤いを!と考え日々食器、花器等  
を中心製作して参りました。作陶の難しさ  
を感じつつ、これからも使い勝手の良い  
作りを目指して参ります。



### D 49 土のあたりえ志保 佐藤志保子

熊本北区鶴羽町3-1-25  
TEL/096-345-2060

天草大陶磁器展の参加は初めてです。女  
性が生活を楽しむために、欲しいなと思  
える生活雑貨として食卓に必要な器や花  
入れなどをています。



### D 58 田口智史

福島市多治米町1-23-17  
TEL/090-4088-3106

アンティーク調の器を主に作っています。  
お気軽にブースへお越し下さい。



### D 59 生楽陶苑 園田空也

北諸県郡三股町大字長田6460-1  
TEL/0986-54-1320

初出展です。英国生まれのスリップウェアとい  
う技法を使った器を中心に作っています。日々  
の食卓が楽しくなるような器作りを心がけて  
います。和食・洋食どちらにも合います。また、  
地元宮崎の土や天然土灰などを用いて、  
自然の風合いが感じられる焼き上がりになっ  
ています。



### E 70 Studio Agata 阿形一郎

鹿児島市七飯町大字東大沼24-952  
TEL/080-2979-8080

窯焼き際、作品をお米の殻の中に埋めて焼  
く(炭化焼成)方法で黒い生地に銀、銅色の  
窯変が出来るものや磁器土に淡い紫色の出る  
釉薬(Peace Bloom)で食器、花器その他、生  
活をより楽しんでもらえるようなものを日々考  
えながら、ものづくりをしています。



### E 71 朝陽窯 大前陽弘

綾轟郡宇田原町南上ノ山6-141  
TEL/0774-88-3982

独自の釉薬を用いて、オリジナル性豊か  
な焼き物を創っています。奇を衒うことなく  
落ち着いた感じの色とデザインで使い  
易いものであることを忘れずに創作して  
おります。是非使ってみて下さい。



### E 81 大畠 穏

鹿児島市伊敷7丁目19-39  
TEL/099-220-5844

鹿児島から初めての出展です。粉引に花や  
フルーツ、野菜などを絵付けした楽しい器や、削  
毛で絵を描いたような個性的な対照的な器  
を主に作っています。日々の生活の器、おも  
てなしの器、そしてハレの日に…楽しめ  
頂けたらうれしいです。自分へのごほうびも  
これで!!是非のぞいてみて下さい。お待ちして  
おります。



### A 1 アクセサリーコイケ 小池喜久子

熊本県天草市中央新町1-5  
TEL/0969-22-3865

2018年、夏  
猛暑でした…しかしながら外出を極力ひ  
かえ室内にこもりガラスを焼く時間が  
出来ることは幸いというかありません。今  
回は白磁ガラスのコラボ作品をご提供  
いたします。多数のご来場をお待ちして  
います。



### A 2 七彩工房 津田保

宇治市槇島町外1  
TEL/0774-24-3674

七宝釉薬の窯変七変化を楽しみながら、  
宇宙やオーロラを作品に。



### A 3 器峰窯 岡部俊郎

熊本県天草市本渡町本戸馬場2004  
TEL/0969-22-2440

地元産の天草陶石を使い白磁・染付等  
を作っています。日々の生活に自然と  
なじむうわわ作りを目指しています。  
今年もよろしくお願いいたします。



### A 4 藍彩窯 谷村学

東彼杵郡波佐見町木郷876-2  
TEL/0956-85-5540

波佐見焼藍彩窯では、天草陶石の上質  
磁器に藍色の吳須をベースにすべて手  
描きで絵付けをほどこしてあります。毎日の  
料理そして食事が楽しくなる器作りをめざ  
しております。



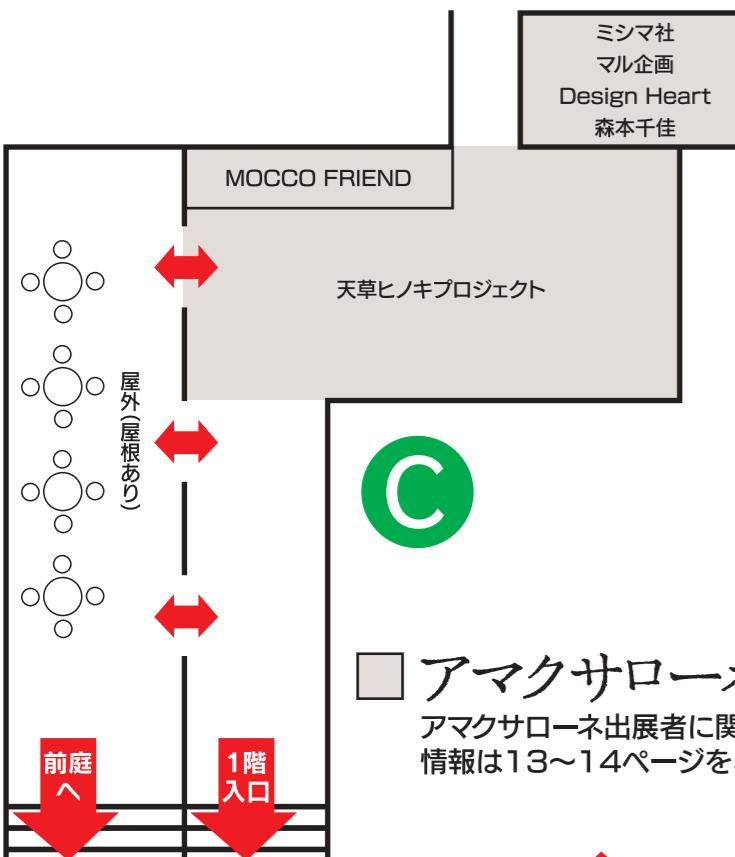
### A 5 有田焼 花器の花泉窯 山田富士男

佐賀市山内町大字宮野23451  
TEL/0954-45-2059

有田地区で唯一  
花器を専門に作  
陶しております。  
手づくりのぬくもり、  
色あいのバラ  
ンス。大物から小  
物まで、ぜひお  
楽しみください。

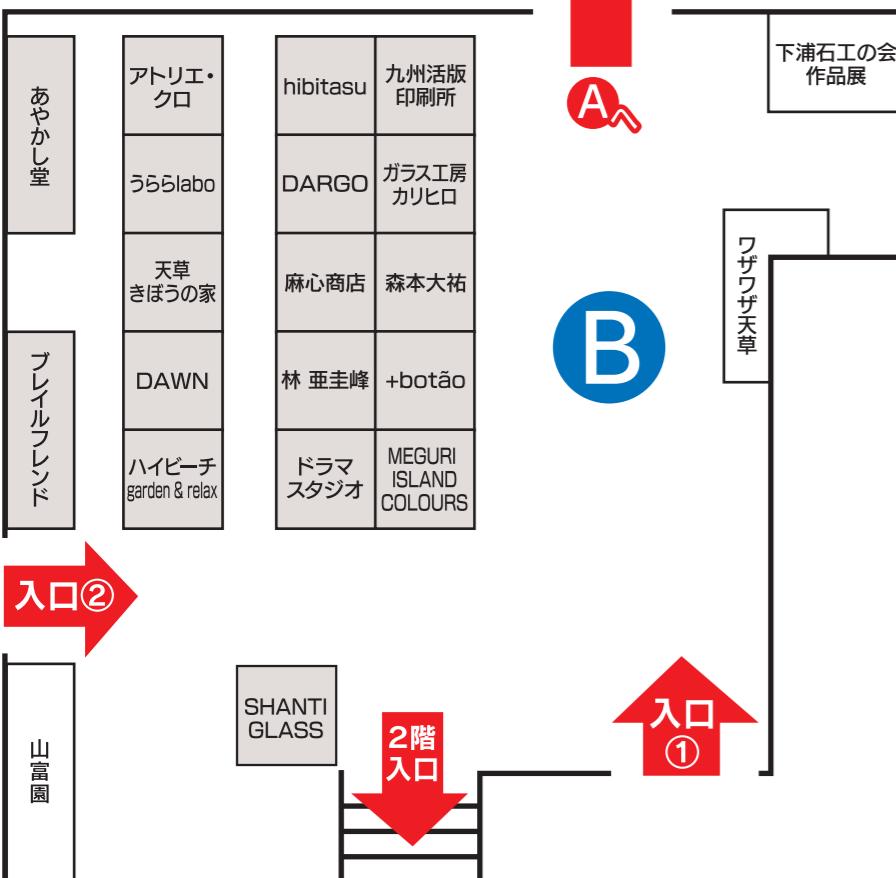






### アマクサローーネ出展者

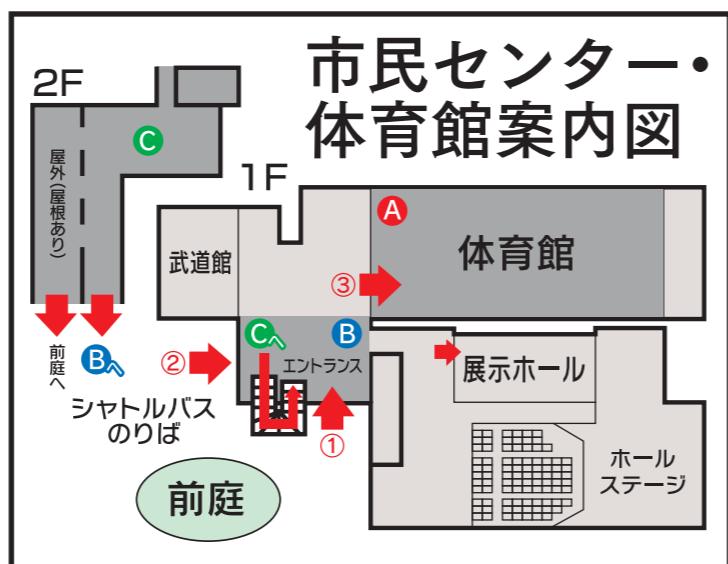
アマクサローーネ出展者に関する詳しい情報は13~14ページをご覧ください。



### 託児サービスあります。

9:30~16:00 ※先着順・受け入れ人数に限りがあります。

天草市民センター・第3会議室



絵付け体験	G-104 蔵々窯 ZOZOGAMA	G-105 鬼池焼 光窯	G-106 北山窯	G-107 坂下窯	G-108 陶房立神峠	G-109 中島陶芸	G-110 子の日窯	G-111 唐木戸陶苑	G-112 天竺窯	G-113 波佐見焼 古櫻窯	G-114 苫南窯
	F-82 内田皿山焼	F-83 順能窯 シュントウガマ	F-94 三股焼 紫露窯	F-95 武雄古唐津焼 東馬窯	F-96 照葉窯	F-97 岩屋快山窯	F-98 桜こころ窯	F-99 宮崎一つ瀬焼 とんぼ窯	F-100 陶房児玉・尾鉢焼	F-101 中霧陶苑	F-103 苫山焼
	F-84 洋々窯	F-85 白水工房	F-86 陶房 花咲	F-87 有紗窯	F-88 あんあん堂	F-89 橋焼	F-90 CERAMIC ART STUDIO MU	F-91 琴音窯	F-92 怜工房	F-93 河浦焼 天草陶染庵	
飯碗展示即売	E-60 市山くじらや	E-61 天草白磁 陶房泰	E-72 皿屋	E-73 日暮窯	E-74 小代本谷 ちひろ窯	E-75 陶房かんな	E-76 白河以北	E-77 創作工房橋窯	E-78 みやこのじょう 太郎窯	E-79 園田陶苑	E-80 斑鳩山房
	D-38 陶丘工房	D-39 山の口焼	E-62 陶房風楽	E-63 南阿蘇焼窯元	E-64 泗水・直子窯	E-65 阿蘇 高遊窯	E-66 陶房恵泉	E-67 国分焼	E-68 いいね工房	E-69 雲舟窯	E-71 朝陽窯
	C-17 高浜焼 寿芳窯	C-18 丸尾焼	D-50 小石原焼 秀山窯	D-51 椎ノ峯窯	D-52 幻窯 genyo	D-53 陶器 つる岡	D-54 潮音窯	D-55 うみがめ工房	D-56 とみ徳	D-57 近藤九心	D-58 田口智史
	B-9 水の平焼	B-10 濱平窯	D-40 天草創磁 久窯	D-41 陶スタジオ	D-42 Artちひろ	D-43 宝泉窯	D-44 山百	D-45 小代焼 中平窯	D-46 南来琉	D-47 新納院焼	D-49 生楽陶苑
展示即売約130点	A-1 アクセサリーコイケ	A-2 七彩工房	C-28 HIROKI KANAZAWA	C-29 小石原焼 上鶴窯	C-30 六平陶房	C-31 一先窯	C-32 小石原焼 やまと窯	C-33 小石原焼 まるた窯	C-34 工房 樹機	C-35 備前焼 若宮窯	C-36 陶工房「Shin」
	A-3 器峰窯	A-4 藍彩窯	C-19 Shige Yuko, Porcelain	C-20 陶祥窯	C-21 ギャラリー TOMO	C-22 梵良窯	C-23 筑前小石原焼 マルワ窯	C-24 暁窯	C-25 陶泉房窯	C-26 陶じやみん	C-37 元町陶苑
展示即売約130点			B-11 金澤尚宣	B-12 陶房 石	B-13 小代焼岱平窯	B-14 双子土龍	B-15 岩元陶房	B-16 森山陶器			C-27 工房豊炎
			A-5 有田焼 花器の花泉窯	A-6 風露香	A-7 亀山サ苗	A-8 やきもの村					

### ろくろ体験・絵付け体験

【11/3日(土・祝)・4日(日)】 10:30~・14:00~

天草市民センター・体育館

初めての方でも安心。出展窯元のスタッフが優しく指導します。お作りいただいた作品は焼き上げてお渡しします。  
先着20名。体験料は1,000円 ※送料は別途必要となります。

### 天草大陶磁器展…今年も見どころ満載

大陶磁器展の楽しみの一つは、全国から集った陶芸家と対話しながら作品を選べることです。今年も天草在住の作り手は勿論のこと、遠くは北海道の陶芸家も天草にやってきます。その数過去最大の114軒。皆様、気に入りの一品が見つかるに違いありません。また会場内では出展窯元のコーヒーカップを使い、天草で焙煎されたコーヒーを飲める「器を楽しむ喫茶店」同時開催としてコーヒーカップコーナーと飯碗コーナーも併設いたします。トリドリの作品の中から、お気に入りを選べる展示となっています。

アマクサローーネの出展は今年は24軒。陶芸以外の様々なクリエイターが天草にやってきます。モノ作り以外にも、こだわりの「本」を作っている出版社など、様々な趣向を凝らした作品と人が集います。前庭のテントブースでは、天草の代表的な食べ物や物産が21店舗出店します。天草の美味しい屋食を取りながら、天草土産を吟味する。行列のできる屋台は天草大陶磁器展の定番風景となっています。さらに前庭では3日、4日と土・日限定で天草の郷土芸能の披露等など、盛りだくさんのイベントが開催されます。今年はゲストの近藤良平氏の振り付けによる「天草小唄」総踊りが、本人の指導の元11月3日の午前11時より開催されます。

エントランスでは天草の伝統的な民芸品の製作工程を見ることの出来る「ワザワザ天草」下浦石工の会・作品展。展示ホールでは全国から公募したAMAKUSA陶磁器コンテストの応募作品が並びます。会期中休日である3日と4日には、大陶磁器展会場内に陶磁器体験コーナーも併設いたします。ろくろの体験や焼物への絵付け体験、出来上がりが待ち遠しい人気コーナーです。小さいお子様連れの方には託児サービスを準備しています。人数に限りはありますが、こちらも是非ご利用ください。

今年は平成最後の陶磁器展。今年で15回目の天草大陶磁器展となります。休日が一日少ない陶磁器展。お時間の許す方は、平日にゆっくりと見ていただける展示会をと準備を進めています。天草大陶磁器展スタッフ一同、皆様のご来場を心よりお待ち申し上げます。

### 第18回 あまくさ 丼丼フェア

【11月30日(金)まで参加店で開催中】



天草だからとれる超新鮮な食材を天草の誇る陶磁器で訪れた方へ精一杯のおもてなし  
お問い合わせ先 (一社)天草宝島観光協会 TEL 0969-22-2243 ※詳しくは、あまくさ丼丼フェアのパンフレットをご覧ください。

■ 本渡諏訪神社例大祭「本渡の市」【11月1日(木)~7日(水)】

諏訪神社周辺が秋祭り一色に染まります！  
様々な祭典・催し物・秋季体育祭行事等がございます。

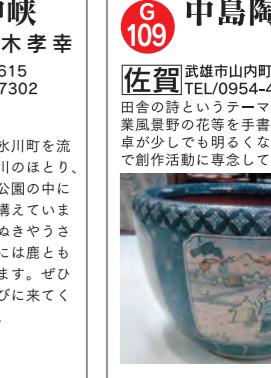
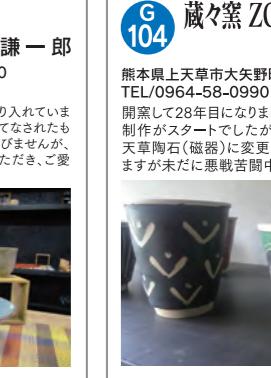
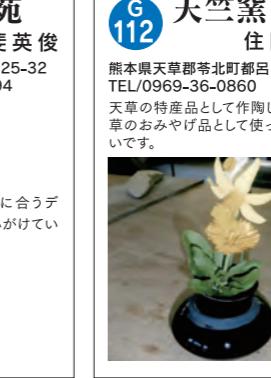
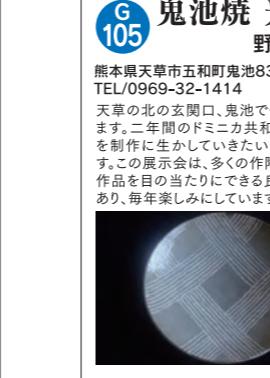
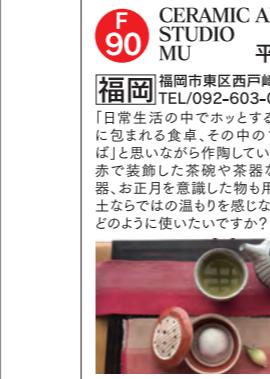
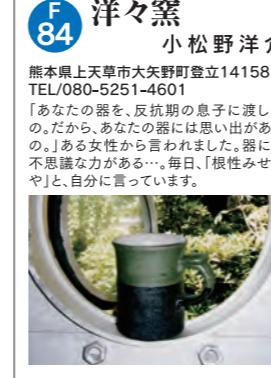
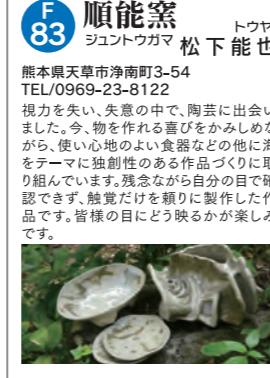
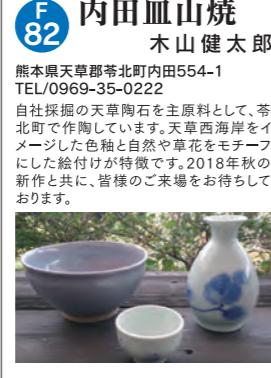
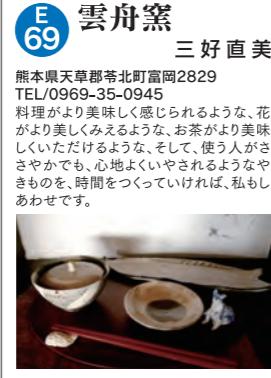
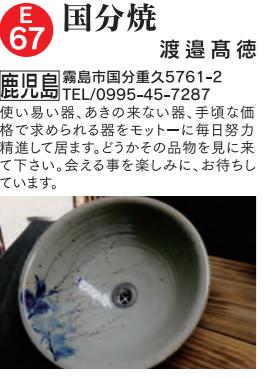
■ 小学生の作陶体験作品展示

【10月20日(土)~11月6日(火)まで】

天草文化交流館・2階展示室 AM9:00~PM5:00

市内の小学校高学年が作った作品を展示します。

# 陶石の島から、陶磁器の島へ



11/2【金】天草でのみ開催のソロ公演 第4弾

# 近藤良平の天草四番

あまくさよばん

in 長嶋茂雄球場 雨天時:市民センター2F剣道場

今年は長嶋茂雄球場での開催!四番ダンス近藤良平!他では見られないスペシャルな公演をスペシャルな場所でお楽しみください。

尚、当日は野外での開催になりますのでお越しの皆さん、防寒の用意をお願い致します。

チケット代 全席自由

**2,000円**

19:00 開演

チケットなどのお問い合わせは丸尾焼まで  
TEL.0969-23-9522(10:00~18:00)

11/3【土】11:00~11:30 場所:天草市民センター 前庭

参加無料 年齢制限なし

昭和8年に発売された天草贊歌♪なみに一ゆ～ら～れ～て～♪でお馴染みの「天草小唄」に振り付けをしてみんなで踊ろう!というワークショップを開催します!老若男女、みんなで踊りましょう!

近藤良平プロフィール:コンドルズ主宰でコンテンポラリーダンサー。舞台、TV、ミュージシャンの振り付けなど、その活動はジャンルを超えて大きな広がりを見せています。

## 革小物 hibitasu 明石 大樹



hibitasuは日々の暮らしにプラスすることで明日も楽しくなるようなプロダクトをつくっています。シンプルで使い手によって変化する革小物や雑貨がメインです。

## 印刷 九州活版印刷所

自分の好きな木活字(WOODTYPE)で英文のオリジナルボスターを作るワークショップを開催します。  
▶参加料:¥3,000(フレーム+¥4,400)  
事前予約受付可  
ワークショップ予約はこちら E-mail:nineletterpress@gmail.com

## レザーカラフト 麻心商店 山田 紘平



レザーカラフト、ステートボードの施材を利用したアクセサリーなどの手作りの作品と、無農薬、無化学肥料で栽培したハーブティー、一味唐辛子などを販売します。モノを大切に、新たに生かし、永く使っていただけるよう、気の向くままにmagokoro込めて日々制作しています。

## イラスト・似顔絵 林 亜圭峰



日々の暮らしに安らぎと笑顔を添えられますよう、クリスピ笑えるイラストを目指しております。今は、皆様とのふれ合いも出来ますよう似顔絵のライブ販売もいたします。

## シルクスクリーンプリント Tシャツの販売 DARGO 成松 大輝



アメカジマインドを大切にしたTシャツを熊本市内にて、シルクスクリーンを使い、手刷りでプリントしています。大量生産にはないTシャツが発展途上だった「あの頃」の雰囲気を是非直接ご覧ください。

## MIXMEDIA DAWN 久保 英祐



宜しくお願いします。

## 点字アート ブレイルフレンド 加藤 英理



「ブレイル」は英語で点字のこと。目の不自由な人が指で触れて読む「点字」モチーフの作品を作っています。点字メッセージ入りグッズ販売や、点字体験ワークショップをします。ぜひ、点字の凸凹に触れて下さい!

## 手工芸 天草きぼうの家



天草の自然をイメージした手織り「天草さり織り」で、オリジナルの雑貨を作っています。糸系統が織りなすハーモニーによって、世界に一つしかない製品が生まれています。バッグやポシェット、ベンケース、犬猫の首輪、肉球グッズなど、多種多様な雑貨をそろえてお待ちしております。

## 染織 MEGURI ISLAND COLOURS Mitsunaga Ayako



染め物をしているMeguriです。目に肌に心地良いもの作りを目指しています。好きな色は青どうぞよろしくお願いします。

## 竹・木工 アトリエ・クロ 獅本 京一



今回、写真のような人形を作ってみました。タイトルは"We/Wil/Win!"です。「我々は勝つ」という意味です。

## ガラス(耐熱) SHANTI GLASS 小島 元



軽くて丈夫で透明度の高い耐熱ガラスを酸素バーナーの1500度を超える炎で加工し日々の生活を彩るガラスや酒器、アクセサリーを作っています。

## クラフト工芸 うららlabo 浦田 純代・志穂



紙素材の籠やバッグを中心とした雑貨を作っています。時間と心を込めて全てがオリジナルデザインの一点モノです。タグもこだわりの活版印刷。



11/3【土】寺子屋ミシマ社

ミシマ社営業チームとアマクサローネ実行委員会による公開企画会議!  
「理想の本屋について」、参加者のみなさんと一緒に考えるイベントです。会場:市民センター2階 18:00~ 参加費 1,000円 (学生・ミシマ社サポートー500円)《コーヒー付き》  
申し込み方法: amakusalone@gmail.com 件名『寺子屋ミシマ社』でお申込みください。  
また、当日券のお問い合わせはミシマ社ブースもご利用ください。

※件名を「寺子屋ミシマ社」とし、「お名前」「お電話番号」「一般・サポートー・学生」のいずれか該当するものを記入のうえお送りください。※記載モレは無効となります。

※応募多数の場合は先着順になりますのでご了承ください。※お支払いの際チケットをお渡しいたします。

「一冊入魂」をモットーに読者と共に本を作る出版社。

## ミシマ社の本屋さん in 天草 vol.3

こんにちは。ミシマ社です。昨年、一昨年と天草のみなさまにあたたかくお迎えいただき、本当に実りの多い時間を過ごすことができました。今年もますますパワーアップして「一冊入魂」の書籍をお届けします!著者直筆のサイン本やここでしか買えないグッズもあるかも!?のんびりほっこりお待ちしています。



本をお買いいただいくミシマ社ロゴマークのくるくる活版印刷無料体験できます!(限定150枚)

私はどこから来たのか  
だいたい知ってる  
私は何者か  
だいたい知ってる  
私はどこへ行くのか  
全然わからない

というわけですが今年も出展させていただきます。写真は粘土の削りカスです。だからなんなんでしょう。

天草高浜ハイビーチより  
グリーンと香りのある日常。  
をお届けします。  
厳選した天草素材のハーブ  
や果皮、果実等を自家蒸留  
し、採れたフルーツウォーター  
や精油を配合ハイセンスな天然の香りの化粧品作り  
体験を行います。物語のある  
天草フルーツの販売、  
植物販売などリラクゼーション  
空間をお楽しみください!

## ファッション +botão INOUE YUMI



ボタン作家。天草陶石を使つた磁器のボタン、天草ボタンは天草陶石の持つ白い輝きと洗濯機で洗つても壊れない強度で飾りではなく実用品としての磁器ボタンとして国内外で評価を得る。天草陶石の「自」を基調としたまるで雲に絵を描いたような独自の世界観はボタンに豊かな表情を与える。

## 絵 あやかし堂 松本 将英



11回目のアマクサローネ。あやかし堂は10回目のアマクサローネ。妖怪をテーマに妖怪の住む街パケモノ市(づくし)という架空の街の奇妙な日常を描いています。会場のどこかでたくさんの妖怪が待ち受けますよ。

## 焼きもの 森本大祐

私はどこから来たのか  
だいたい知ってる  
私は何者か  
だいたい知ってる  
私はどこへ行くのか  
全然わからない

## ガラス工芸 ガラス工房カリヒロ 假屋園 宏道



自分が日頃見たり感じたりした自然や生き物などを、作品に取り入れて表現しています。

## 木工 ドラマスタジオ 吉田 健吾



上天草にある野窯島で木の器やオブジェを制作しています。そばにありますと心地良さそうで、少しずつ染んでいくようなもの。暮らしを豊かに彩る表情豊かなものを出展します。

## ボタニカル、天草アロマ、リラクゼーション

天草高浜ハイビーチより  
グリーンと香りのある日常。  
をお届けします。  
厳選した天草素材のハーブ  
や果皮、果実等を自家蒸留  
し、採れたフルーツウォーター  
や精油を配合ハイセンスな天然の香りの化粧品作り  
体験を行います。物語のある  
天草フルーツの販売、  
植物販売などリラクゼーション  
空間をお楽しみください!

## 紙芝居 ぐれっち



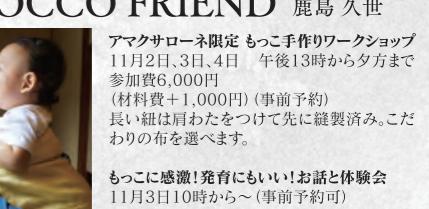
熊本在住、名古屋出身の女性紙芝居師れっち。趣味の自転車旅の相棒マウンテンバイクに紙芝居の箱をのせて、オリジナルの紙芝居を口演。※11月3・4日のみ

## 木工品等 天草ヒノキプロジェクト



今から50年も前のこと。「未の暮しに役立つように」と天草たくさんヒノキが植えられました。長い時をかけて育った地域資源「天草ヒノキ」を暮らしの中に。キッサン道具やテーブル小物、香りに着目したアイテムなど、各社の技やアイデアが光る天草ヒノキ商品をご紹介。木のぬくもりに触れてみて下さい。

## 会場 2階 MOCCO FRIEND 鹿島 久世

アマクサローネ限定 もつこ手作りワークショップ  
11月2日、3日、4日 午後13時から夕方まで  
参加費6,000円 (材料費+1,000円) (事前予約)  
長い紐は肩わらをつけて先に縫製済み。こだわりの布を選べます。  
もつこに感激!発育にもいい!お話を体験会  
11月3日10時から~(事前予約可)  
※11月2・3・4のみ出展販売

## 会場 2階 絵本 マル企画 永田 有実



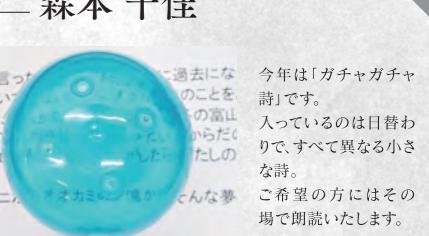
あまくさで暮らす、自分の身近な出来事や伝えたいことを題材に、絵本を作っています。手のひらサイズのマッチ本も、よろしくお願いいたします。

## 会場 2階 Design Heart 山下真由美



何年ぶりの出展なのか思い出せないくらい久しぶりの出展です。今でもまた「あの時のアレは、もう作ってないんですか?」と有難い言葉をかけてくださる方がいて、あの頃のアレ…とは同じように作れないけれど、廻し猫のアレコレを、渝しみながら作ってみようと思います。

## 会場 2階 森本 千佳

今年は「ガチャガチャ詩」です。  
入っているのは日替わりで、すべて異なる小さな詩。  
ご希望の方にはその場で朗読いたします。

# 第11回 アマクサローネ

「天草 + サローネ = アマクサローネ」サローネとは見本市のこと。わたしたちが生きるという事のその中には誰かが作った無数のモノがありそれを取り巻く環境、思想がある。それぞれのより良い暮らしを求めて人は工夫し努力し、何かを探している。アマクサローネは、人々の暮らしの中を取り巻くモノ、そして営みの中の行為に焦点を絞り誰かの生活に寄り添っていけるモノ、そして新たな日々が始まるようなコト等を紹介する。それは誰かが探しているモノ、コト達の見本市。

2018  
**11/1(木)・2(金)・3(土)・4(日)・5(月)**

天草大陶磁器展とは日程が異なります。(アマクサローネは5日までとなります。)

午前9:30～午後5:00  
場所 天草市民センター

詳細はホームページでご確認ください。<http://amakusalone.com> [アマクサローネ]